



「金木犀」

職員室の前に金木犀が植えてある

陸上部の生徒が金木犀の木の傍で活動している

職員室の窓の隙間から、かすかな風に運ばれて金木犀の香りが届けられる

小学生の時の石けりをして遊んでいた風景が蘇る

大きな金木犀の木の下で石けりの石が見えにくくなるまで夢中で遊んだあの頃が

子供のころは、遊ぶのに夢中で金木犀の香りに心が奪われることはなかった

でも、素敵な香りは私の心の中に入り込んでいる

金木犀の香りは、私を遠い昔に戻してくれる

忘れていた、自分の記憶を思い出して、微笑んでしまう

校庭で金木犀の木の横を駆け抜けていく生徒たちも

いつか、年を重ねて、城山中学校の校庭を夢中で走っていた自分を

金木犀の香りで思い出すだろうと思う

金木犀の香りは思い出の香りだから



校庭の金木犀